

日本産業衛生学会 近畿地方会ニュース

発行所 日本産業衛生学会近畿地方会
〒 641-0011 和歌山市三葛 580 番地
和歌山県立医科大学保健看護学部内
専用 FAX 番号：050-3737-1042
発行責任者・森岡郁晴（地方会会長）
<http://jsoh-kinki.jp>

第 64 回日本産業衛生学会近畿地方会総会および特別講演・シンポジウム

日 時：平成 28 年 6 月 11 日 13：00～17：00

場 所：大阪市立大学医学部学舎 4 階大講義室

平成 27 年 12 月 1 日よりいわゆる「ストレスチェック制度」が義務化されています。皆様すでに対策はお済みでしょうか？

ストレスチェック制度は、労働者に対して行う心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）や、検査結果に基づく医師による面接指導の実施などを事業者が義務づける制度（従業員 50 人未満の事業所は当分の間努力義務）です。人事権を持たない医師や保健師などが実施者となり、職場におけるストレスの原因に関する項目、ストレスによる心身の自覚症状に関する項目、他の労働者による支援に関する項目合計 3 項目について、毎年 1 回定期的に検査を行わなければならないとされています。面接指導の対象となる労働者の要件は、「検査の結果、ストレスの程度が高い者」で、「検査を行った実施者が面接指導の実施が必要と認めた場合」とされ、実施者がその確認を行い、面接指導の申し出の勧奨を行います。また、実施者に、検査の結果を一定規模の集団ごとに集計させ、その結果について分析させるよう努めるとともに、この分析結果を勘案し、必要と認められる場合は、その集団の労働者の実情を考慮して、この集団の労働者の心理的な負担を軽減するため、適切な措置を講ずるよう努めなければならないとされています。平成 27 年 11 月 24 日、法律施行の間際になって厚生労働省から「面接指導に関する報告書・意見書作成マニュアル」が出されました。また施行後の平成 28 年 3 月 14 日には厚生労働省から、実施した事業所が労働基準監督署への報告用に使用できる「心理的な負担の程度を把握するための検査結果報告書」が出されました。このようにストレスチェック制度はその運用について日々追加資料などが出されており、我々産業保健に関わるものはその最新情報を得ておくことが求められます。

今回の特別講演は、ストレスチェック制度の成立に中心的な役割を果たされたプール学院大学の岡田邦夫先生をお願いをいたしました。面接指導や保健指導など、我々に求められている役割について、最新の情報をご説明いただけるものと考えております。シンポジウムは「ストレスチェック制度が始まって～現状と課題～」とし、ストレスチェック制度に実施者や共同実施者など中心的な立場ですすでに関わっておられる産業医、保健師、

EAP（Employee Assistance Program: 従業員支援プログラム）の皆様にもシンポジストをお願いしました。シンポジウムの最後には、岡田邦夫先生にもご参加いただき総合討論を予定しております。すでにストレスチェック制度の運用をなされた事業所や運用方法を決定されている事業所にとっては自社システムをよりよくする機会に、まだ対応に迷っておられる事業所にはその運用の参考にしていただけるものと思います。

多くの参加者を得て活発な討論がなされることを、そしてストレスチェック制度が労働者のために正しく運用される一助になることを期待しております。

<プログラム>

13：00～13：50 近畿地方会総会

14：00～17：00 特別講演・シンポジウム

テーマ：ストレスチェック制度への対策はお済みですか？

（14：00～15：00）特別講演

「法制化されたストレスチェック制度～面接指導と保健指導」

演者：プール学院大学・プール学院大学短期大学部教育学部教育学科 健康・スポーツ科学センター 岡田邦夫先生

座長：大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学 井上幸紀先生

（15：00～17：00）シンポジウム

「ストレスチェック制度が始まって～現状と課題～」

演者：

- 1) 大阪ガス株式会社 人事部 健康開発センター 濱田千雅先生
- 2) 株式会社 健康管理室 益江淑子先生
- 3) (株) ジャパン EAP システムズ関西支社 榎本正己先生
- 4) 総合討論 岡田邦夫先生 濱田千雅先生 益江淑子先生 榎本正己先生

座長：パナソニック健康管理センター健康管理支援部 橋口克頼先生 三井化学大阪工場健康管理室 堤梨恵先生

第 64 回近畿地方会総会および学術講演会

特別講演・シンポジウム申し込み要領

【参加費】

日本産業衛生学会（産衛学会）員：無料

産衛学会員で日医認定産業医単位希望者：3,000 円

非産衛学会員：2,000 円

非産衛学会員で日医認定産業医単位希望者：5,000 円

*なお定員は 250 名で、当日は事前申込者を優先といたします（事前申込につきましては HP などでお知らせします）。事前申込みのない場合、お待ちいただいても満席でご参加いただけないことがあります。事前申込みに是非ご協力下さい。

【単位申請】

日本医師会産業医認定単位：3 単位申請中（生涯：更新 1 単位、専門 2 単位）

【申し込み方法】

ホームページまたは FAX（申込用紙はホームページをご覧ください）

【受け付け開始】

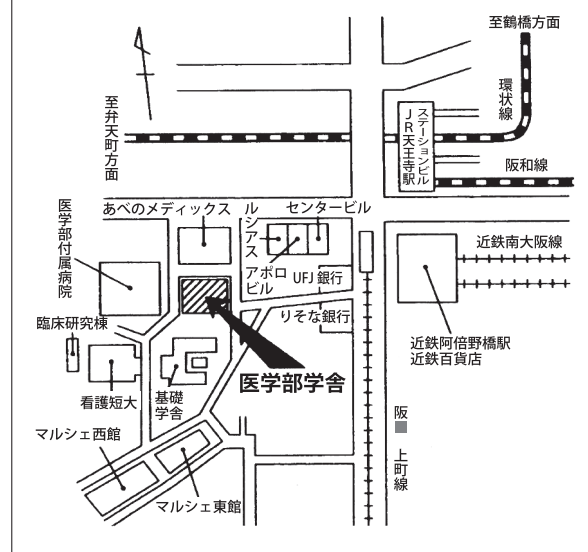
5 月 20 日（金）0 時から開始し、定員（250 名）になり次第締め切ります。

【諾否の連絡】

受講票の発送をもって受講可の回答とし、お断り（定員超過）の場合は FAX でご連絡します。

受講票の再発行はいたしませんので大切に保管し、紛失しないようご注意ください。

受講票が 6 月 3 日（金）になっても到着しない場合はお手数ですが、事務局（FAX 050-3737-1042）までご連絡ください。

地方会総会会場
大阪市立大学医学部学舎案内図

■代議員の皆さまへ

総会の前に代議員会を開催いたします。

代議員の方はご出席ください。

時間：12：00～12：50

場所：大阪市立大学医学部学舎 4 階 小講義室 1

◎本ニュースに同封の「総会および代議員会出欠確認」用のハガキを 6 月 1 日（水）必着でご返送ください。昼食の準備はしておりませんので、予め済ませてご来場ください。

■幹事の皆さまへ

幹事会を開催いたしますのでご予約おきください。

時間：10：50～12：00

場所：大阪市立大学医学部学舎 4 階 小講義室 1

謹 告

本年は本部及び地方会役員選挙の年です。

平成 27、28 年度の日本産業衛生学会年会費（1 万円／年）が 7 月 29 日（金）までに納入されていなければ選挙権・被選挙権が失効します。ご注意ください。

平成 27 年度近畿地方会収支報告および平成 28 年度予算 (案)

1. 収入の部

科 目	27 年度予算額	27 年度決算額	28 年度予算額	摘 要
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	490,000	163,000	400,000	
協賛金等収益	90,000	0	0	
参加登録料収益	400,000	163,000	400,000	総会特別講演等当日参加費
受取補助金等	1,890,000	1,950,178	1,890,000	
受取本部助成金	1,890,000	1,950,178	1,890,000	1,500 円×1,334 人
受取負担金	1,900,000	2,078,000	2,000,000	
受取活動費	1,900,000	2,078,000	2,000,000	2,000 円×1,093 人
雑収益	300	2,000,396	300	
受取利息	300	396	300	
雑収益	0	2,000,000	0	第 88 回積立金戻り金
経常収益計	4,280,300	6,191,574	4,290,300	

2. 支出の部

科 目	27 年度予算額	27 年度決算額	28 年度予算額	摘 要
事業費	3,510,000	5,145,899	3,609,600	
臨時雇賃金	100,000	60,000	100,000	第 63 回特別講演・シンポジウム受付
会場費	250,000	160,800	200,000	第 63 回特別講演・シンポジウム会場費
旅費交通費	0	0	10,000	
通信運搬費	100,000	48,144	50,000	
印刷製本費	100,000	154,564	50,000	
懇親会費	0	0	0	
消耗品費	30,000	0	10,000	
機関誌印刷費	500,000	570,240	500,000	
機関誌編集費	150,000	4,450	150,000	
機関誌発送費	500,000	462,094	500,000	地方会ニュース発送費
研究費	100,000	151,000	100,000	
諸謝金	100,000	151,000	100,000	第 63 回特別講演・シンポジウム講師謝金等
学会助成金	500,000	0	500,000	
協議会助成金	0	2,000,101	0	第 26 回全国協議会積立金
大会研修会助成金	150,000	500,000	50,000	
部会助成金	450,000	350,000	450,000	150,000 円×2 部会
研究会費	150,000	150,000	150,000	50,000 円×3 研究会
委託費	0	0	289,600	
開発保守費	300,000	370,000	370,000	HP 関連
雑 費	30,000	13,506	30,000	
管理費	2,230,000	2,457,197	1,914,000	
給料手当	480,000	100,000	100,000	
理事幹事会費	150,000	238,398	150,000	
旅費交通費	100,000	66,960	100,000	
通信運搬費	100,000	16,500	30,000	
役員改選費	400,000	18,733	400,000	
印刷製本費	0	72,117	0	
消耗品費	100,000	1,951	10,000	
委託費	864,000	1,933,600	1,104,000	事務局支局・事務局委託費
雑 費	36,000	8,938	20,000	振込手数料・残高証明書発行手数料等
経常費用計	5,740,000	7,603,096	5,523,600	
当期一般正味財産増減額	-1,359,700	-1,260,522	-1,233,300	
一般正味財産期首残高	4,032,508	4,032,508	2,771,986	
一般正味財産期末残高	2,672,808	2,771,986		

平成 27 年度近畿地方会事業報告 (案)

1. 第 63 回近畿地方会総会および学術講演会

日時：平成 27 年 6 月 20 日 (土) 13:00~17:00

会場：大阪市立大学医学部学舎 4 階大講義室

I. 地方会総会 (13:10~13:50)

II. 学術講演会

1) 特別講演 (14:00~15:00)

「職場ストレスチェックの概要と今後の展開について」

座長：廣部一彦 (みずほフィナンシャルグループ)

演者：堀江正知 (産業医科大学産業生態科学研究所／保健管理学)

2) シンポジウム (15:00~17:00)

「職場におけるストレスチェックへの対応と課題～法的側面からも考える～」

座長：伊藤正人 (パナソニック健康保険組合健康管理センター)・玉木登志枝 (ダイハツ工業オフィスサポートセンター)

演者：森山和郎 (パナソニック株式会社 AIS 社守口健康管理室)

山田長伸 (山田長伸法律事務所)

2. 第 55 回近畿産業衛生学会

日時：平成 27 年 11 月 14 日 (土)

場所：兵庫県医師会館

テーマ：実効性のあるストレス対策と働きがいの向上をめざして

学会長：丸山総一郎 (神戸親和女子大学大学院文学研究科)

I. 一般講演

II. 特別講演

「企業のリスクアセスメントとストレスマネジメントー精神障害の労災事例を中心にー」

座長：丸山総一郎 (神戸親和女子大学大学院文学研究科)

演者：黒木宣夫 (東邦大学医学部精神神経医学講座)

III. シンポジウム

「変わる職場ストレスとメンタルヘルス教育のあり方ー労働安全衛生法改正によるストレスチェック制度の義務化を見据えてー」

座長：廣部一彦 (みずほフィナンシャルグループ)
鮫島真理子 (兵庫産業保健総合支援センター)

演者：井上幸紀 (大阪市立大学大学院医学研究科精神神経医学教室)

森口次郎 (京都工場保健会診療所)

亀井真由美 (兵庫県予防医学協会検診センター健康相談室)

三柴丈典 (近畿大学法学部)

3. 代議員会

第 1 回：平成 27 年 6 月 20 日 (土)

大阪市立大学医学部学舎

第 2 回：平成 27 年 11 月 14 日 (土)

兵庫県医師会館

4. 幹事会

第 1 回：平成 27 年 6 月 20 日 (土)

大阪市立大学医学部学舎

第 2 回：平成 27 年 9 月 4 日 (金)

大阪市立大学医学部学舎

第 3 回：平成 27 年 11 月 14 日 (土)

兵庫県医師会館

第 4 回：平成 28 年 2 月 12 日 (金)

大阪市立大学医学部附属病院会議室

5. 広報活動

近畿地方会ニュースを年 4 回 (102 号から 105 号) 発行。地方会ホームページを随時更新し、地方会会員に迅速に情報を提供した。

6. 近畿産業医部会

(1) 第 20 回近畿産業医部会研修会 (参加者 202 名)

日時：平成 27 年 9 月 5 日 (土) 14:00~17:00

会場：大阪市立大学医学部学舎 4 階大講義室

実行委員長：岩根幹能 (新日鐵住金和歌山製鐵所)

テーマ：まもなく施行されるストレスチェックについて

(2) 幹事会：年 2 回

臨時幹事会 平成 27 年 8 月 1 日 (土)

第 1 回幹事会 平成 27 年 9 月 5 日 (土)

第 2 回幹事会 平成 28 年 2 月 5 日 (金)

7. 近畿産業看護部会

(1) 定例研修会

第 1 回 (参加者 51 名)

日時：平成 27 年 7 月 18 日 (土)

会場：エル・おおさか 5 階南ホール

主題：「メンタルヘルス不調者に対する復職支援」

講師：鍵本伸明

第 2 回 (参加者 70 名)

日時：平成 28 年 1 月 30 日 (土)

会場：薬業年金会館

主題：「産業看護職とソーシャルキャピタル」

講師：長尾和宏

(2) 幹事会：年 4 回

第 1 回幹事会 平成 27 年 4 月 11 日 (土)

第 2 回幹事会 平成 27 年 7 月 18 日 (土)

第 3 回幹事会 平成 27 年 11 月 7 日 (土)

第 4 回幹事会 平成 28 年 1 月 30 日 (土)

8. 近畿産業衛生技術部会

日時：平成 28 年 2 月 6 日 (土) 13:00~17:00

場所：貸会議室 ユーズ・ツウ

「化学物質のリスクアセスメント義務化における簡易測定機器の活用範囲」

特別講演 リスクアセスメントのばく露測定の意義

座長：圓藤吟史（大阪市立大学）

演者：保利一（産業医科大学）

特別発言 産業医の立場から

中西一郎（東レ株式会社滋賀事業場 健康管理センター）「リスクアセスメント実施への意気込みと簡易機器開発への期待」

簡易測定機器による実習と講義 1) 海福雄一郎（株式会社ガステック）「ビデオばく露モニタリングシステムの活用」、2) 吉栄康之城（新コスモ電機株式会社）「Voc モニターの活用」3) 大隈裕明（光明理化学工業株式会社）「検知管の活用」

9. 研究会活動

(1) 産業精神衛生研究会

第1回（参加者 103 名）

日時：平成 27 年 6 月 24 日（水）

会場：薬業年金会館

「増加し続ける若者のメンタルヘルス不調への対応」

第2回（参加者 50 名）

日時：平成 27 年 10 月 13 日（火）

会場：大阪国際交流センター

「記憶に刻まれた歌は心を解き放つ特効薬」

(2) 職業性筋骨格系障害研究会

日時：平成 27 年 5 月 15 日（金）

会場：グランフロント大阪・カンファレンスルーム C（第 88 回日本産業衛生学会における自由集会、大阪開催につき共催）

講演：「慢性運動器痛の治療に関する最近の知見」

講師：福井聖（滋賀医科大学附属病院ペインクリニック科）

(3) じん肺研究会：休会中

(4) 労働衛生法制度研究会：休会中

(5) 近畿臨床産業医学フォーラム（第 18 回）

日時：平成 28 年 2 月 3 日（水）

会場：ANA クラウンプラザホテル大阪

「職域メンタルヘルスと睡眠障害 Up to Date」

10. 協賛事業

海外勤務者健康管理研修会（共催：（社）大阪府医師会、大阪産業保健総合支援センター）

日時：平成 28 年 1 月 23 日（土）14：00～16：00

会場：コンファレンスプラザ大阪御堂筋

11. 第 5 回近畿産業衛生学会優秀演題賞の選考

「健診時の脈拍数に関連する身体的要因と心理社会的要因」

岩根幹能（新日鐵住金和歌山製鐵所）

「復職を目指すうつ病患者の気分にもたらす効果～作業療法における多職種構成による活動プログラムより～」

巽絵里（関西福祉科学大学保健医療学部 /EAP 研究所）

近畿地方会平成 27 年度第 4 回幹事会

日時：平成 28 年 2 月 12 日 18：30～21：00

会場：大阪市立大学医学部附属病院 2 階会議室

出席：森岡・中西・圓藤・井上・久保田・廣部・大脇・木村・清原・鮫島・埴田・竹下・富永・中村・夏目・藤岡・丸山・宮下・村田・田村

欠席：鈴木・車谷・伊藤・河合・木曾・坂本・豊川・萩原・林・森口（順不同・敬称略）

1. 審議

1) 平成 27 年度事業報告（案）⇒4～5 ページ参照

資料に基づき森岡地方会長から報告があり、承認された。

2) 平成 27 年度決算報告（案）⇒3 ページ参照

資料に基づき森岡地方会長から報告があり、承認された。

3) 平成 28 年度事業計画（案）⇒6 ページ参照

資料に基づき森岡地方会長から報告があり、承認された。

4) 平成 28 年度予算（案）⇒3 ページ参照

資料に基づき森岡地方会長から報告があり、承認された。

5) 選挙管理委員会からの報告

竹下選挙管理委員長から説明があり、意見交換がなされた。①監事は、当初の期日内に届け出た候補が 2 名以内の場合、その候補は無投票当選とし、不足の人員について公募延長と選挙を行う②住所不明等で事務局支局に投票用紙が返送された場合を除き、投票用紙の不着・紛失の申し出があった場合は再発行しないこととする。

2. 報告

1) 第 64 回近畿地方会総会の特別講演・シンポジウム

井上理事から報告があった。

2) 第 56 回近畿産業衛生学会の進捗状況

埴田会長から報告があった。

3) 第 57 回近畿産業衛生学会の準備状況

田村会長から報告があった。

4) 地方会ニュースの発行状況と HP 更新状況

藤岡広報担当幹事から、地方会ニュース発行状況および HP のアクセス件数・更新回数について報告があった。

5) 第 26 回日本産業衛生学会 全国協議会の準備状況

久保田企画運営委員長から報告があった。

6) 本部理事会の報告

資料に基づき圓藤本部長から説明があった。

7) その他

今回の幹事会は、6 月 11 日（土）10 時 50 分から、大阪市立大学医学部学舎で開催予定。

平成 28 年度近畿地方会事業計画（案）

1. 第 64 回近畿地方会総会および学術講演会

日時：平成 28 年 6 月 11 日（土）13:00～17:00

場所：大阪市立大学医学部学舎

I. 地方会総会

II. 学術講演会

会場：ドーンセンター大阪

主題：「産業看護職に求められる面談技術：気持ち
とかかわるために～ワークショップ編～」
（仮）」

講師：池見陽（関西大学臨床心理専門職大学院）

第二回

大阪市内にて開催予定

（2）幹事会：年 4 回を予定

2. 第 56 回近畿産業衛生学会

日時：平成 28 年 11 月 13 日（日）

場所：ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター

学会長：埜田和史（滋賀医科大学）

I. 一般講演

II. 特別講演

III. シンポジウム

8. 近畿産業衛生技術部会

総会・講演会を開催予定

3. 代議員会

第 1 回 平成 28 年 6 月 11 日（土）

大阪市立大学医学部学舎

第 2 回 平成 28 年 11 月 13 日（日）

ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター

4. 幹事会

第 1 回 平成 28 年 6 月 11 日（土）

大阪市立大学医学部学舎

第 2 回 平成 28 年 8 月

大阪市立大学医学部学舎

第 3 回 平成 28 年 11 月 13 日（日）

ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター

第 4 回 平成 29 年 2 月

大阪市立大学医学部学舎

9. 研究会活動

（1）産業精神衛生研究会

第 1 回

日時：平成 28 年 6 月 22 日（水）18:30～21:00

会場：薬業年金会館 6 階

座長：森口次郎（京都工場保健会診療所）

1) 「ストレスチェックの「医師面接指導」の実際、
ああ実感！」

講師：夏目誠（毎日放送・産経新聞・デサント（株））

2) 「ストレスチェック 相談などへの対応を中心
に」

講師：鈴木純子（日本アイ・ビー・エム（株）人事）

3) トークセッション

4) フロアーとの総合討論

第 2 回

大阪市内にて開催予定

（2）職業性筋骨格系障害研究会

年 1 回開催予定

（3）近畿臨床産業医学フォーラム

年 1 回開催予定

5. 広報活動

近畿地方会ニュースを年 4 回（106 号から 109 号）
発行予定。地方会ホームページを随時更新し、地方
会会員に迅速に情報を提供する。

6. 近畿産業医部会

（1）第 21 回近畿産業医部会研修会

（第 26 回日本産業衛生学会全国協議会内で開催）

日時：平成 28 年 9 月 10 日（土）

会場：京都テルサ

実行委員長：富永なおみ（大阪ガス株式会社

人事部 健康開発センター）

（2）幹事会：年 2 回を予定

10. 後援・協賛事業

第 23 回日本産業精神保健学会 平成 28 年 6 月 17
日～18 日開催

海外勤務者健康管理研究会（共催：（社）大阪府
医師会、大阪産業保健総合支援センター）平成 29
年 2 月に開催予定

11. 第 6 回近畿産業衛生学会優秀演題賞の選考

（本文中敬称略）

7. 近畿産業看護部会

（1）定例研修会

第一回

日時：平成 28 年 7 月 16 日（土）

第26回日本産業衛生学会全国協議会（第2報）

メインテーマ「変革期を迎えての産業保健の協働」

企画運営委員長 久保田昌詞（大阪労災病院治療就労両立支援センター）

実行運営委員長 中西一郎（東レ滋賀事業場）

1. 会期：2016年9月8日（木）～9月10日（土）
2. 会場：京都テルサ 〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70番地
3. 日程：9月8日 事業所研修
9月9日・10日 12のシンポジウムと6つの教育講演、会場内研修、ポスターセッション等。懇親会は9月9日夕刻に予定
4. 演題の公募：ストレスチェック、ダイエット、非正規雇用、データヘルスをテーマとする4つのシンポジウムでは演題（演者）を公募しております。

5. 申込受付：宿泊は1月中に開始しております。
演題申込は現在受付中です。締め切り5月31日正午です。

詳細はホームページ <http://www.c-linkage.co.jp/ncopn26/> をご覧ください。

6. 内容

メインシンポジウム：変革期を迎えての産業保健の協働（仮題）

シンポ1（公募）：ストレスチェック制度～活用の先進事例～

シンポ2：転倒防止対策（仮題）

シンポ3：夜勤・交代勤務による健康障害を抑止する（仮題）

シンポ4：女性の職業生活におけるサポートについて考える～女性が元気に働くために～

シンポ5（公募）：ダイエット～効果的な保健指導の実

践事例～あなたの事業所では、効果的な保健指導が実践できていますか

シンポ6：就労に制約がある労働者に対する支援

シンポ7：がんと就労支援～医療現場と職場・どうつなげるか？～【近畿産業医部会共催】

シンポ8（公募）：あなたの事業所では、非正規雇用労働者の健康管理どうなっていますか？

シンポ9：それでもタバコを吸わせますか（仮題）

シンポ10（公募）：データヘルス

シンポ11：2020年の健康経営を考える（仮題）

教育1：科学的根拠に基づくメンタルヘルス不調の1次予防

教育2：化学物質による健康障害～症例、疫学、動物実験から～（仮題）

教育3：遺伝子検査

教育4：受動から能動のメンタルヘルスへ：e-learningを用いた学習型認知行動療法（CBT）の現状と産業応用

教育5：グローバル化時代の感染症とその対策

教育6：メンタルヘルス不調の up-to-date（仮題）

実地研修の会場内研修

看護 1 知りたい！作業環境測定から評価の仕方と改善まで

2 知りたい！職場巡視のポイント～人間工学的視点から～

産業医 A 労働安全衛生保護具を学ぶ

B 化学物質のリスクアセスメントとしてのコントロールバンディングの応用

C 作業環境測定評価と簡易測定機器の応用

実地研修の事業所研修（5箇所決定済み）

びわこ学園、美十（おたべ）、京都機械工具、トーシプリンティング、積水化学京都研究所

第18回近畿臨床産業医学フォーラム開催報告

平成28年2月3日（水）18:00～20:30にANAクラウンプラザホテル大阪において本フォーラムが開催された。テーマは「職域メンタルヘルスと睡眠障害 Up to Date」で、二人の講師にご講演頂き、最後に総合討論を行った。

昨年12月より労働安全衛生法改正によるストレスチェック制度がスタートし、産業医療職としては、従来にも増してメンタルヘルス関連の新しい情報や知識を積極的に入手し、各職場のメンタルヘルス対策に活かしていく工夫が必要になる。本フォーラムでは、職域メンタルヘルスの中心的課題の「睡眠障害と復職」に焦点を当て、講演と総合討論によりメンタルヘルスリテラシーを深めることとなった。精神科医でありまた睡眠障害の第一人者である江村成就先生からは、「働く人の睡眠障害」についてご講演いただいた。「日本国中が睡眠不足に陥っている」とのことで、いろいろな睡眠障害について事例を挙げて説明され、「睡眠障害にはわけがある」、「睡眠障害と生活習慣病は関係が深い」など分かりやすいお話を頂いた。

また精神科医で大学研究者の井上幸紀先生には「うつ

病からの職場復帰」でご講演を頂いた。職域メンタルヘルスでは「主治医側の疾病性」と「産業保健スタッフ・人事側の事例性」とが常に軸としてあるが、主治医と患者の関係が確立した後にリワーク（業務遂行能力）が入ってくることになる。主治医、患者、職場そしてリワークで、全体的として良好な連携ができるかどうかは復職では重要なポイントとなる。このように復職時のリワークに関して大変参考になるご講演を頂いた。その後総合討論（Q & A）で活発な討議がなされて盛会裡に幕を閉じた。参加者は約100名であった。

当番世話人：廣部一彦（みずほフィナンシャルグループ）

テーマ「職域メンタルヘルスと睡眠障害 Up to Date」

I. 特別講演（1）「働く人の睡眠障害」

講師 大阪鉄道病院精神神経科

江村 成就先生

II. 特別講演（2）「うつ病からの職場復帰」

講師 大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

井上 幸紀先生

III. 総合討論（Q & A）

会員の声



ラグビーと「がんの就労支援」 ～キーワードは「連携」～

大阪ガス（株） 人事部・健康開発センター

富永 なおみ

「大阪府警ラグビー部、TL（トップリーグ）入りに挑む」「公務員初！ TLへ出動だ」

今年は新聞やテレビで府警ラグビー部の活躍をご覧になった方もおられるのではないのでしょうか。ルールも知らないままチームドクターになり8年間、私の職場は変わりましたが、今でも試合を見守り続けています。（内科医なので文字通り見守るだけです）

外人選手もいない、スタッフもいない、お金もない状況でどうやってチームを強化していくか。監督やコーチ、OBの人たちの熱い想いを聞きながら、私の役割は練習の合間の食事やコンディショニング指導、もろもろの相談、整形外科への紹介など、ラグビー部の「産業医」的なものです。これから始まる新シーズンも、またみんなと知恵を出し合い、工夫を凝らしてワンランクアップしたチーム作りをしていく予定です。そのチーム作りに大切なのは、監督、コーチ、選手はもちろん、怪我の治療をして下さる整形外科の先生方、トレーナーや

理学療法士、移動バスの運転手、写真を撮るカメラマン、府警幹部、応援団など色々な方々とのコミュニケーションと連携です。チームとそれを取り巻く人たちの気持ちがちひとつになってこそこの「ワンチーム」。この「手作り感」が府警ラグビー部の最大の魅力であり、武器です。

話は変わって、先日、M 保健師さんの紹介でP社のH先生とK 大学医学部腫瘍内科学のT先生を中心とした「がんの就労支援」の勉強会へ参加させて頂きました。そこに集まっている方々の職種はドクター、ナース、コーディネーター、弁護士、社労士で、患者の会の方もおられます。さまざまな職種の方々がそれぞれの方面からがん患者さんをサポートされている真摯なお姿に感動しました。そこに産業医も入れば、さらに安心して働ける職場環境を作ることが出来るのではないのでしょうか。ぜひこのような医療現場の取り組みを9月の全国協議会のシンポジウムでお聞き頂きたいと思います。

ラグビーで言う「ワンチーム」は「がんの就労支援」にもあてはまるのではないのでしょうか。そのキーワードは「連携」。

これからも色々な方面の方々とつながっていけると嬉しいです。よろしくお願い申し上げます。



学生に産業看護職の魅力を伝えるには

園田学園女子大・人間健康・人間看護

山崎 由記子

私の所属している園田学園女子大学は創立50周年を迎え、その中で人間看護学科は平成18年開設であり、大学の中で最も新しい学科です。保健師教育としては、平成26年度から選択制を導入し、30名を定員として選抜を行い、この3月に保健師養成課程初めての卒業生を輩出しました。

保健師養成課程となり、必要単位数が増加し、実習期間も長くなりました。対象学生の人数が絞られたことでより丁寧に学生に関わることが可能となり、念願の産業保健演習も始まりました。これまで、『産業保健』に関して、学生は具体的なイメージがつかめず、講義だけでは雲をつかむような話だろうなと感じていましたので、

大変嬉しく思っています。実際に、自治体に所属する保健師のイメージが強く、また実習や講義も保健所・保健センターが中心となっているのが現状です。そのような状況の中で、産業保健の現場での演習をさせていただくことは本当に貴重な機会であり、多岐にわたる産業保健分野の魅力をいかにして伝えていくべきなのか試行錯誤の日々を送っています。

学生からは、「産業保健師に興味はあるけれど、募集も少ないし、新卒は採ってもらえない。」というような声も聞こえてきます。実際に、演習を引き受けていただいている企業の担当者からは、臨床経験をもった人に来て欲しいとの声もいただいています。私自身も、病院勤務の後に産業保健師になった経験があり、確かに病院勤務時代の経験を活かすことができる場面は多かったのかなと感じています。しかし、産業看護職への道は一つではありません。卒業生の大多数が、病院勤務の看護職として就職していく中で、将来の選択肢の一つとして、産業保健分野を考えてもらえるよう柔軟に関わっていきたいと考えています。



家庭血圧に基づく労働者の健康管理

和歌山医大・保健看護学部

宮井 信行

高血圧は日常臨床で最も頻繁にみられる疾患であり、NIPPON DATA 2010 から試算された本邦の高血圧有病者数は約4300万人（男性2300万人、女性2000万人）で、国民の3分の1を占めています。

高血圧は心血管病（脳卒中と心疾患）の最大の危険因子であることは言うまでもありませんが、最近、国内外の疫学研究によって、高血圧が認知症のリスクを上昇させることが示されており、特に、中年期の高血圧が老年期の認知症の発症や進行に強く関与することが明らかになっています。したがって、中年労働者の健康管理においては、心血管病のみならず、認知症を予防する観点からも高血圧対策を積極的に行うことが望ましいと言えます。

日本高血圧学会による「高血圧治療ガイドライン 2014」では、従来の診察室血圧（健診時血圧）以外に家庭血圧の測定を推奨しています。家庭血圧は診察時血圧よりも

予後の予測能が高く、白衣高血圧や仮面高血圧、血圧日内変動異常の診断にも有用です。また、高血圧治療者の血圧管理に対する意識を高めて、服薬アドヒアランスを改善する効果が期待できます。現在、家庭血圧計の普及が進んでいることもふまえると、職域において、家庭血圧測定を取り入れた健康管理が有効であると思われます。

私たちの研究グループでは、県内の複数の市町村を対象地域に選定し、自治体との協働で地域疫学研究を実施しています。この研究は、心血管病や認知症などの加齢関連疾患の発症と予後に関わる遺伝・環境要因を包括的に解析し、予防に役立つ効果的な方策を提案することを目的としています。

家庭血圧については、メディカルリンクに対応した通信機能付きの家庭血圧計を用いた研究を開始しており、朝と就寝前・就寝中、さらに、座位と立位での血圧を測定し、血圧値および体位変換に伴う変動を含む血圧変動性についての評価を行っています。

今後は、これらの家庭血圧測定に基づく様々な血圧情報と心血管病や認知機能低下のリスクとの関連を探索的に解析し、職域の労働者の健康管理に役立つエビデンスを数多く提供できるようにしていきたいと考えています。

近畿地方会産業精神衛生研究会の案内

今年度のご案内

産業医や産業看護職の参加が多い研究会。運営は夏目誠、井上幸紀（大阪市大）、市口りえ（KK デサント）、矢野敏昭（産業カウンセラー協会）の4人の幹事で行っています。

以下の2回を予定しています。

1. 第1回

日時：平成28年6月22日（水） 18：30～21：00

場所：薬業年金会館 会費 2000 円

座長 産業医 森口次郎（京都工場保健会）

テーマと流れ

1. ストレスチェックの「医師面接指導」の実際
あぁ実感！ 精神科医 夏目 誠
2. ストレスチェックー相談などへの対応を中心に
保健師 鈴木純子（日本アイ・ビー・エム）
3. トークセッション
森口次郎、夏目 誠、鈴木純子
4. 総合討論

2. 第2回

日時：平成28年11月7日（月） 18：30～21：00

場所：薬業年金会館 会費 2000 円

テーマ

「職場のメンタルヘルス不調はまだ増えているのか」

井上幸紀（大阪市立大学大学院）を中心に

【お申込み・お問合せ】

日本産業カウンセラー協会関西支部（担当：矢野）

TEL : 06-4963-2357 FAX : 06-4963-2358

メールアドレス：sanseiei@jica-kansai.jp

(毎日放送、産経新聞、KK デザント
精神科医 夏目 誠)

産業看護部会 平成 27 年度第 2 回定例研修会報告

「高齢者介護に 今 直面している
従業員を あなたはどうサポート
しますか? ~今、産業看護職にできる
こと~」に参加して

大阪府・人事局・企画厚生課

西村 ちひろ



日頃の業務の中で、家族の介護について深刻な問題を訴えたり、仕事と介護の両立に悩んだりする職員と関わることが増えています。介護の現場を十分に把握しないまま相談を受けることに問題を感じていた中、今回の研修を受けることができました。

講師の長尾和宏先生には、①高齢者介護の現状、②介護者は何が大変か、③介護者はどこに相談すればいいか、④介護保険制度の現状と今後、⑤地域包括ケアシステムとは、について動画を交えてわかりやすくお話しいただきました。

在宅介護の現状は、老々介護、認知介護（認知症が認

知症を介護）であること、介護施設はほとんどが満員で高価なため、改造した民家で雑魚寝状態の安価なお泊りデイが増えていること、介護スタッフには素人も多く介護事故が起こりうること、などが紹介されました。

介護者については、24 時間 365 日過酷であり、終わりのない慢性疲労が不眠やうつ、介護殺人の原因になっていること、介護者を支える在宅医療スタッフも過重な労働を強いられていること、などが事例を交えて解説されました。相談窓口である地域包括支援センターについても、スタッフが多忙という実態から「何とかしてくれる所」ではなく「介護の基礎知識を教えてくれる所」として相談すること、と具体的な指摘がありました。介護現場の厳しさを改めて知るとともに、実際の相談や介護の方法について考えさせられました。

最後に今後の展望として、介護保険は医療保険との連携が重要であり、少産多死時代を乗り切るには、中学校区の地域をひとつの病院と考える「地域包括ケアシステム」が必要である、と提言されました。

講演冒頭から「本音で語ります」とお話しいただき、介護の具体的、実地的な現状を学ぶことができました。自分の知識不足を実感する機会にもなり、先生の執筆本を一度拝読したいと考えています。学んだことを職員からの相談に活用できるよう、今後も自己研鑽に努めたいと思います。

【訃報】 上田美代子保健師が平成 28 年 1 月 16 日にご逝去されました（享年 87 歳）

☀ 上田美代子さんを偲んで

近畿産業看護部会幹事
大脇 多美代

私が昭和 44 年 3 月に保健師学校（旧大阪市立厚生女学院）を卒業するにあたって、教務主任から「企業に行かれた先輩がいるから」と紹介されたのが上田美代子さんと、その時はこんなに長年に渡り深い関わりを持つことになるかとは思いませんでした。新卒で保健師活動のイロハも分からなかった私の目に映った上田さんは、当時大阪府立成人病センターの集検 1 部、小町嘉男先生のもとで多くの医師に交じって秋田県や大阪八尾市での住民健診の疫学調査に係って、イキイキと活躍されていた姿でした。

成人病センターをご退職されてからは、産業現場の保健師として、まさに全身全霊をかけて産業看護部会や後輩の育成に取り組んでこられました。特筆すべきは平成 8 年以降実施された「日本産業衛生学会産業看護職継続教育講座」の構築に、上田さんを含め河野啓子先生、和田晴美先生、中嶋美繪子先生、今は亡き多くの先輩方が幾度となく泊まり込みで議論を尽くし、その基礎を作り

あげられたということで、その逸話はよく上田さんから聞かされたものです。

教育制度は昨年 5 月に「産業保健看護専門家制度」として改正されましたが、それまでは「産業看護職継続教育基礎コース、短縮 N コース研修」として実施されました。近畿でも 19 年間にわたり、大阪産業保健総合支援センターの協力を得て、継続して取り組むことが出来たのは、一重に松井治子さんと上田美代子さんの「産業看護職のために」という熱意の賜物と思います。現在、各職場で活躍されている保健師・看護師の方々も論文提出やその他職場の悩みや問題解決のための助言などお世話になった方も多いと思います。一方、近畿産業看護研究会が昭和 53 年 8 月に発足しましたが、上田さんは発足当初から平成 8 年 5 月までの 18 年間、世話人代表として実に精力的に誠実に牽引されてきました。

先輩たちが心血注いで作り上げられた活動は、今も近畿産業看護部会として（会員約 450 名）後輩達にしっかり受け継がれています。調査、研究、研修会開催等活発に活動できているのも、先輩方にルールを引いていただいたお蔭と感謝しております。

昨年の第 88 回日本産業衛生学会にお姿を見せて下さり、「ご苦労様」と労いの言葉をかけていただいたのが最後となってしまいました。産業看護職の発展を常に気にかけて応援してくださった上田さんに感謝申し上げ、心からご冥福をお祈りいたします。

合掌

第21回近畿産業医部会研修会のお知らせ

毎年9月上旬に開催してきましたが、本年はおりしも第26回日本産業衛生学会全国協議会が同時期に京都で開催されますので、今回は同学会と共催企画として予定しております。

1. 日時：平成28年9月10日（土）15：50～17：20
2. 場所：京都テルサ 第26回日本産業衛生学会全国協議会 第一会場
3. 内容：メインテーマ「がんと就労支援～医療現場と職場・どうつなげるか？～」
座長：富永なおみ（大阪ガス（株）人事部大阪ガスグループ健康開発センター）
橋口克頼（パナソニック健康保険組合健康管理センター）

◎基調講演：がん患者の会からみた就労支援について
講師：濱本満紀（NPO 法人がんと共に生きる会・NPO 法人がんええナビ製作委員会）

◎パネルディスカッション

事例提示：嘱託産業医の立場で中小企業において苦勞した事例
益江毅（株式会社健康管理室）
パネラー：益江毅
中辻史記（リード総合法律会計事務所）
松本晴美（松下記念病院緩和ケア病棟）

コメンテーター：濱本満紀

◎質疑応答

技術部会からのお知らせ

平成28年2月6日（土）ユーズ・ツウにおいて、近畿地方会産業衛生技術部会研究会「化学物質のリスクアセスメント義務化における簡易測定機器の活用範囲」を開催し、30名の参加がありました。ご参加ありがとうございました。

今回の技術部会の特徴は産業医研修も同時に開催したことです。参加者は8名でいずれも実際に作業現場で指導している産業医でした。認定産業医の取得単位は、特に実習を行うことにより、生涯（専門）1単位と生涯（実地）2.5単位の3.5単位が医師会で認められました。

特別講演は 産業医科大学の保利一教授がリスクアセスメントのばく露測定の意義をわかり易く説明され、また簡易測定機器の応用利点について講演されました。簡易測定機器の実習と講義は3班に別れ、1班）ビデオば

く露モニタリングシステムの活用として株式会社ガステックの海福雄一郎先生、2班）Voc モニターの活用として新コスモ電機株式会社の吉栄康之城先生、3班）検知管の活用範囲として光明理化学工業株式会社の山崎正彦先生がそれぞれ行い、技術部会会員も参加しました。

最後には特別発言として産業医の立場から、東レ株式会社滋賀事業場健康管理センター所長中西一郎先生からリスクアセスメント実施への意気込みと簡易機器開発への期待について発言を頂きました。技術部会の初めてのこの試みについてご意見がございましたらお知らせください。

近畿技術部会 河合 俊夫

産業看護部会からのお知らせ

○H28年度 第1回定例研修会のご案内

日時：H28年7月16日（土）13：30～16：30 予定
会場：ドーンセンター大阪（大阪市中央区大手前1丁目3番49号）

テーマ：「産業看護職に求められる面談技術：気持ちとかかわるために～ワークショップ編～」(仮題)
講師：池見 陽 先生（関西大学臨床心理専門職大学院 教授）

昨年5月に日本産業衛生学会産業看護部会特別研修会で池見先生にご講演をいただきました。好評につき近畿で第2弾を開催いたします。多くの方のご参加をお待ちしています。

詳細：近畿地方会 HP 参照

○「基礎研修」受講者募集！

5月下旬より受付スタート予定

本年度は「産業保健看護専門家登録者試験」合格者向けの基礎研修が東京で開催されます。

前期：H28年8月25日（木）～27日（土）

後期：H29年2月16日（木）～18日（土）

各3日間、50単位取得できる研修です！早めに応募しましょう。

詳細：産業看護部会本部 HP 参照

○近畿産業看護部会新体制のお知らせ

永年、産業看護部会活動に貢献していただいた4名の幹事退任により、4月から新体制になりました。新幹事体制は、近畿地方会 HP をご覧ください。

近畿地方会 HP URL：http://jsoh-kinki.jp/ohn/index.html

産業看護部会本部 HP URL：http://sangyo-kango.org/wp/

近畿産業看護部会問合せ先：kinkisankan@gmail.com

会員の異動 (敬称略)

〈新入会員〉

戸出 有香	富士通 (株)
久米田 知佳	新日鐵住金 (株)
貫場 俊彦	全国健康保険協会 兵庫支部
永山 由起	全国健康保険協会 兵庫支部
足立 浩祥	大阪大学 保健センター
吉元 弘美	モロゾフ (株)
船橋 徹	(株)三井住友銀行 大阪健康サポートセンター
大西 啓之	一般社団法人滋賀県歯科医師会
井上 育子	京都大学 環境安全保健機構健康管理部門
松本 悟	康生会 豊中平成病院
椿野 亜紀	公立神埼総合病院
佐伯 紀子	ダイハツ工業 (株)
石田 智之	(地独)堺市立病院機構 堺市立総合医療センター
東 さおり	龍谷大学
吉田 えり	森ノ宮医療大学
岸本 かおる	帝人 (株)
小川 恵美子	滋賀医科大学 保健管理センター
山森 聖子	学校法人西大和学園 白鳳短期大学



第56回近畿産業衛生学会のお知らせ (第一報)



滋賀医科大学・社会医学講座・
衛生学部門

埤田 和史

平成28年度の近畿産業衛生学会を以下の通り実施いたします。

- 1 日時：2016年11月13日(日)
- 2 場所：ピアザ淡海(大津市におの浜1-1-20)
- 3 テーマ：「地域社会と連携した産業保健」

産業保健活動には事業所内だけで完結できないものも多くあります。また、従業員の安全衛生管理の結果が、地域社会に影響を及ぼすこともあります。こうした観点から、特別講演では「運転職の安全衛生管理」を、シンポジウムでは県行政と連携して取り組んでいる「がん患者の就労支援」をテーマに企画いたします。

秋深まったびわ湖畔での学会に、是非、ご参集下さい。

4 プログラム概要：

- (1) 特別講演「運転職の安全衛生管理」(仮題)
講師 一杉 正仁(滋賀医科大学・社会医学講座・法医学部門 教授)
- (2) シンポジウム「滋賀県におけるがん患者の就労支援」
- (3) 一般口演
演題締切：2016年9月3日(土)
※優秀演題賞・若手奨励賞を表彰します
- (4) 懇親会：11月13日(日) 17:00~19:30
ホテルピアザびわ湖 6階 クリスタルルーム
(ホテルは学会会場に併設しています)
- (5) 学会事務局：〒520-2192 大津市瀬田月輪町
滋賀医科大学・社会医学講座・衛生学部門
第56回近畿産業衛生学会事務局
事務局長 北原照代

編集後記

2015年度は、ストレスチェックの話題に明け暮れた年でした。あったような気がします。私の大学でも私が長を務める健康管理センターが実施母体となり、7月の定期健康診断時の実施に向けての議論を衛生委員会で行っています。紀三井寺キャンパスをはじめ、三事業所2000余名の職員を対象とする大事業です。この事業の目的である一次予防にどう結び付けていくかが課題です。本号が届くころには、ストレ

スチェックの実施でストレスを感じている会員も少なからずいらっしゃるのではと案じつつ、堅実な成果を期待する次第です。(宮下 和久)

編集委員 (50音順)

河合 俊夫 木曾 真一
久保田昌詞(担当理事) 鈴木 純子(担当理事)
中村 千賀 藤岡 滋典(代表幹事)
宮下 和久 村田 理絵(代表幹事)